

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『和を大切にする』という理念。心が和み、人と人との和を大切に、自然とのふれあいの和を大切にしています。職員も環境の一つとして居心地の良い環境を目指しています。	事業所の理念を掲げており、理念の実践ができるように職員も個人目標を設定しているほか、玄関や事務室にも理念を掲示しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルスにより、2019年度は行っていた地域との繋がりは中止している。ソフィアセンターの本の貸し出し等、できる範囲での繋がりを継続しています。	ご利用者の作品を市内の銀行のスペースに展示したり、今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、今後は例年通りに事業所にてオレンジカフェを開催し地域の方にも来て頂くなどし、地域との交流を検討しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	身体拘束禁止の検討と同時に、認知症の人の理解、支援について話し合い運営推進会議やサービス担当者会議等で活かしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	7月以外は書面での開催とはなりましたが、普段は参加できない民生委員様より貴重なご意見を頂いたことは良かったです。	今年度は新型コロナウイルスの影響で書面での開催もありますが、2ヶ月に1度、市の担当者、地域包括支援センター職員、副町内会長、民生委員、ご家族などに参加していただき運営推進会議を実施し、そこでの意見を職員等にも周知し、サービス向上につなげています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の参加者の中に、柏崎市介護高齢課の担当の方もいるのでご意見を頂きながら連携をとっています。その他、委託業務としてGH利用者様の認定調査を行い協力体制を築いています。	市の担当者及び地域包括支援センター職員とは運営推進会議にて事業所の状況を報告しアドバイスを頂くなど、協力関係ができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止委員会は二ヶ月ごとに行い、高齢者虐待防止についても年二回は研修を実施し、研修記録に残しています。	身体拘束をしない方針であり年に2回研修の機会を設けたり、2ヶ月毎に定期的に検討委員会を開催するなど、職員の理解を深めています。	身体拘束に該当するケースにおいて、同意書を頂いていない方が確認されましたので、今後改善されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	2020年度は5月と11月の高齢者虐待防止Ⅰ・Ⅱと研修を行うとともに、日頃から虐待につながるようなケアをしていないかが申し送りに出て検討されており意識ができています。	身体拘束同様に、年に2回研修の機会を設けたり、職員の言葉の遣い方についても気になる点は指導するなど、普段の生活の中でも対応について考えながら、防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	1名の利用者様には保佐人の方がいて支援の相談、実践をしています。話し合いの内容を職員へ共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は十分な説明を行っており、その後も質問があればその都度お答えしています。最近ではメールでのやり取りを希望されるご家族が増え対応しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にはご家族にも参加を頂きご意見を頂いたり、ご連絡した際にご要望を伺うことも多く、支援につなげています。	ご家族の面会時に意見や苦情を確認しているほか、運営推進会議にて要望の確認や、サービス担当者会議時にも意向を確認しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や毎月のミーティング等で職員からの意見や要望を確認しています。個々でも報告を受け、施設全体で考えるように努めています。	率直な意見や提案が職員間で共有できるように、毎月のユニット会議にて職員の意見を確認する機会を設けています。また、管理者が職員に対して個別面談を定期的実施し、職員の意見や要望を把握するようにしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人の働き方の希望があり、それになるべく添うようにシフトを組んでいる。勤務年数に関わらず管理者や上長の評価が給与に反映している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ツクイ会社全体でチューターという指導的な立場を作り、新人教育に力を入れている。その他計画作成、管理者、生活相談員、2～3年の職員対象等それぞれの研修があり参加できる体制になっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2020年は外部への研修の機会は限られた職員のみでの参加でした。サービス担当者会議等の意見は現場の意見をまとめてお伝えし、その後の報告を行い考えを共有しています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様のご自宅での様子や施設ご利用時の様子をご家族と共有し、ご本人様にとってどんな支援が良いのかを話し合い決めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族、担当ケアマネ様と情報を共有し、ご意向を確認しながら支援をおこなうように努めています。ご家族との連絡は、電話ではなくメールを希望されることが増えてきています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人のこだわりやご家族のこだわりを大事に取り入れて支援しています。入居前の生活を細かくアセスメントし、段階を踏んで対応していることで安心感につなげています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援とは何かを念頭に置いて対応しています。できる力を奪わないこと。待つこと。職員からお客様へ「ありがとうございます」とお伝えすることも多いです。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	支援の内容には、常にご家族のご意向が入っています。現状をお伝えしながら、一緒に考えて頂けるように連絡を取り合っています。	ご家族には受診や外出の支援も行ってもらっています。また、ご家族には定期的に活動の様子をまとめた広報を送付し情報の共有に努めています。	個別の状況を伝えられるように、ご利用者毎に定期的に個別のお便りをお送りされることを期待します。
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人の方からのご連絡は変わらずあります。いつでもご連絡を頂きたいとお伝えしてきています。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、ご家族にも協力頂き自宅へ出かけたり、ご家族に面会も来て頂き、関係が継続できるよう支援しています。	面会届を活用し、面会者の状況を把握するほか、外出の時間も記録に残されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールで皆さんと過ごされる方もいれば、ご自分のペースで自室で過ごされる方もいます。声を掛けるとホールへ出てこられて皆さまの輪の中で過ごされています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後のお客様から、その後のご様子についてご連絡いただくこともあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの生活様式やこだわりを大切にすることを意識して対応しています。無理強いはせず、反応やタイミングをみながら対応しています。	ご本人、ご家族の要望を確認し担当者会議にて一人ひとりの介護計画に反映できるように努めています。ご利用者が表現が困難な場合も、日頃の生活の中でのお話などから意向を確認するようにしています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	書面や口頭で情報を共有し、支援につなげられるように努めています。	入居時に把握したアセスメントだけでなく、日々の生活でご利用者との会話や、ご家族からの情報収集により把握に努めており、定期的なアセスメントの見直しも行っています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	夜間帯からのご様子や体調を考慮し、個々の支援に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人とご家族の意向をもとに、計画作成時のカンファレンス、モニタリング、作業手順について話し合いを行い支援内容を決めています。	3ヶ月に1回モニタリングを実施し、課題の把握や対応方法について検討しています。必要に応じてご家族からの意見等もお聞きし、介護計画に反映させています。	介護計画書に日付の記載ミスがありましたので、今後ミスの無いように改善されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間の伝達は朝礼、業務日誌、申し送りを活かしています。日々の様子やケアの実践・結果等記録に残しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルスにより、ご家族のニーズにも変化があります。リモート面会やメールでのやりとりもご希望に添った対応を始めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ソフィアセンターからの本の貸し出しを楽しみにされている方がいます。 ボランティアの方からは『いつでも声を掛けてくださいね。待ってます』とお話があります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほとんどの利用者がかかりつけ医の受診を継続をしています。体調に合わせて無理のない往診にもつながっています。往診による歯の治療も受けています。	ご家族に定期受診をお願いしているご利用者もおりますが、ご利用者の受診支援を職員が同行して行くこともあります。また、協力医との連携を図り適切な医療を受けられるよう支援しており、必要に応じ職員も同行しご利用者の状態を報告しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	一週間に一回の訪問と24時間コール対応で情報を得て、健康管理を行っています。医療的な支援や体操など、健康維持に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族のご意向をお聞きしながら、担当のソーシャルワーカー様と連絡をとり退院の目途について話をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	呼吸不全や脳梗塞や食事・水分が全く摂取できないなど、医療が必要となり入院され、退院の目途が立たず退去となってしまうこともありました。ご家族、主治医と話し合い決めてきました。	重度化した場合や終末期の対応については事業所としての指針も作成し、契約時にご家族に同意を頂いているほか、状態に応じて話し合いの機会も設けています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、救命講習を受けています。 (2020年11月実施) 社内研修等も行い、事故防止や事故発生時の対応について情報を共有しています。	毎年事業所にて救命講習を実施しており、職員が適切な初期対応ができるように指導しています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の実施(年2回)実施済みです。 現在は原子力災害時の避難についても県、市、東京電力の方から指導を受けています。	日中や夜間の火災を想定した避難訓練を行ない、災害時を想定した非常用の食品や水も確保されています。	災害時に対応できるように、緊急連絡網は職員の実状に合わせて見直されることを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇、マナー研修を定期的実施しています。 普段から職員間でも声を掛け合い、間違っただ対応をしないように事業所全体で取り組んでいます。	事業所広報への写真の掲載についても同意書を頂いており、情報保護に関する研修や日々の業務を通して周知徹底に努めています。また個人情報保護マニュアルを整備し、社内規定にも明記されており、対応方法を徹底しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のご意向をきいたうえで、タイミングをみて再度声をかけるなど、気持ちに寄り添う支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自分のペースで自室で過ごされたり、ホールに出てこられたりと自由があります。支援に入る前にご意向を伺い希望に添うよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族が買って来た洋服を着てもらう支援や食事後の衣類の汚れや口腔ケアを実施しています。 髭剃りも確認しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理中の味見をお願いしたり、準備や片付けを一緒に行うなど日頃から関わって頂いています。季節のイベント食やお茶菓子等も満足頂いている様子があります。	ご利用者の負担にならない範囲で食事の準備や後片付けも一緒に行っています。イベントメニューを取り入れたり、ご利用者と一緒に事業所で育てたイチゴも収穫するなど、ご利用者に食事を楽しんでもらえるよう取り組んでいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	アセスメントに添って必要な支援や記録を残しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	2020年7月から口腔衛生管理体制加算を取得し、毎月歯科医師より助言と歯科衛生士の口腔ケアと日々の支援内容の指導を頂き、健康維持に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で確認し、日々の排泄の支援に繋げています。羞恥心等にも配慮し、本人様のお気持ちに寄り添いながらの支援に努めています。	ご利用者全員を対象に排泄チェックを行い、一人ひとりの排泄パターンを把握することで気持ちよく自然に排泄ができるように日々取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動を取り入れて便秘への支援を行っています。好きな飲み物を選んで頂いたり、冷たくなって飲めないようなことがないように交換し摂取量を増やせるように努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴に拒否があるお客様に対して、入浴前の関わりを大切にしています。お風呂に入りたくないような言葉がけや対応をしています。	ホームでの入浴を楽しんで頂けるように、入浴を嫌がる方にも声かけのタイミングや方法を工夫したり、必要な方には2人介助で支援したりしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節に合った掛物や布団を準備して対応しています。不眠のお客様には個別で対応し、安眠につなげています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	以前と違う症状の方が見られた際、ご家族へ相談のうえ、主治医に丁寧に症状を報告し薬の調整をしています。症状が軽減し落ち着いて過ごされていますが、その後も経過観察をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中でそれぞれの役割や得意なことを行って頂けるような環境があります。ホールには音楽が流れ、お客様同士おしゃべりを楽しまれています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設の駐車場が広いため、外へ出て散歩をされたり、椅子を出して日光浴をされたりしています。ご家族からも「外に出る機会を作ってほしい」との希望もあり対応しています。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、例年では天気の良い日は散歩に出掛けており、個別の外出支援も対応できる範囲で行っています。また、季節に合わせてお花見やお祭り、紅葉見学にも出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	立替金という形で、本人様のご希望に添っていつでも購入ができます。購入前にご家族へ承諾を得ています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様や家族様の希望にそって、いつでも電話ができるようになっています。毎日、ご家族とお話されているお客様もいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	本社全体でSQチェックが実施されており、改善すべき点を確認し、改善できるまで対応しています。	共有スペースには畳の小上がりがあり、ご利用者が洗濯物を畳んだり、お昼寝ができるようになっています。普段の活動の様子をまとめた写真やご利用者の作品も掲示されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	いつもの場所でないと不安になる利用者もいるが、お客様の反応をみながら過ごしやすい環境作りを行っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた物を家族様に配置して頂き、安心して過ごして頂けるようにしています。掃除や理念交換など、ご本人様へ確認をとりながら行っています。	家具等は使い慣れたものを使用させていただき、身の回りには好みのものや思い出の品を飾ったり、居心地のよい空間作りに努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活が送れるように、その人なりでどこまで支援が必要かを考え共有しています。 できる力を奪わないように対応しています。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				